

中国社会における報道統制問題

The problem of the media control in Chinese society

高尾 和泉

Izumi Takao

大妻女子大学大学院 人間文化研究科 言語文化学専攻 修士課程

キーワード : 中国, 報道, 統制

Key words : China, News, Control

1. 研究目的

現在中国では、社会主義市場経済のもと、経済発展が著しい。その一方で、Twitter や Facebook 等の SNS の規制や、国営報道機関の統制が続いている。

“平等”が重要視される社会主義国では、言論の自由が制限され、報道が厳重な統制のもとに置かれることが珍しくない。中国では、共産党政権樹立後から現在に至るまで、報道機関の統制が続けられている。果たしてこの現状を“平等”であるといえるのだろうか。

そもそも、ここまでインターネットが普及した現代において、情報統制には限界がある。実際、都市部に住む多くの中国国民は、国家から与えられた情報を鵜呑みにするようなことはしない。しかし、国民が使用する情報収集システムは監視下にあるので、知らず知らずのうちに行動がコントロールされる可能性があるし、国家に不利な情報は排除される。

外国人に対しても、明らかな情報統制がある。インターネット上で、情報規制についての検索をすると、インターネットにアクセスできなくなったり、SNS が利用できなくなったりする。

こういった問題がある以上、中国が国際的な信頼を得ることは難しい。そこで本研究では、報道規制問題に焦点を当て、その歴史と現状を分析したうえで、現代中国社会が直面している矛盾の要因を捉え、その解決案を提示したい。そして、経済的側面のみならず国家体制としても世界をリードし、日本とともに東アジアをけん引する展望を打ち出すことを目的とする。

2. 研究実施内容

本研究では、中国上海復旦大学への留学を通して、フィールドワークを積極的に取り入れ、中国社会の現状を内側から観察することに重点を置いた。情報を統制される立場にある中国人への聞き取り調査や、どこまで情報が統制されているのか、実際に現地で生活することで、ありのままの現状を観察することができた。

在学中は同校で学ぶ中国人学生達と意見を交換したり、同世代のみならず幅広い年代の中国人と交流したりと、情報統制問題について議論を重ねた。

また、VPN サービスを利用し、中国にしながら日本や中国以外の海外サイトにアクセスできるような環境を整え、中国版サイトと海外版のサイトを比較検討した。

結果、海外版サイトにはある記事が、中国版サイトにはなかったり、中国独自の SNS システムが構築されていたりすることが分かった。

3. まとめと今後の課題

現地に直接足を運び、実態調査を行うことができたが、情報統制についての検索は容易ではなかった。VPN サービスを利用しても、入ることができないサイトも多数あり、調査に支障をきたした。

また、中国人の間でも情報統制の話題はタブー視されており、核心に迫る質問や議論をしようとすること自体、困難を極めた。

しかし、そういった現状を打開しようとするのではなく、ある程度受け入れて、むしろ利用しようという考えの中国人も多数いるという事が分かった。

中国では、若年層のみならず、高齢者もスマー



トフォンを使いこなし、町中に情報があふれていた。それが国家の監視のもと提示されている情報だという事を意識できている中国人はどれほどい

るのかといった調査には及ばなかったもので、今後の課題としたい。